本土児童館 事業評価表

※事業区分「1」···仕様書事業、「2」···自主事業(企画事業)

	I	────────────────────────────────────	<u> </u>	ロエチ木\		F /N/						
項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度 評価 H28	実施 回数 H28	一 一					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
		① 乳幼児クラブ O歳 ・すくすくぽんクラブ	月2回程度	10	13	16	209	0	0	236	445	・O歳児のクラブは、初めて児童館のクラブに参加する親子が多いため、交流を持ったり、親子でたくさんスキンシップをして楽しめるような活動内容にした。PRには母子推進員や保健センターの職員の協力を得て、児童館を知らない人にも知ってもらうことができた。外に出る機会が少なくストレスを溜めていたお母さんもいたが、児童館で子育ての話ができ、楽しく過ごせたという声を聞いた。
报	1	② 乳幼児クラブ 1歳 ・ぴよぴよクラブ	月2回程度	10		16	174	0	0	170		・1歳児のクラブは、運動機能も発達し、散歩やサーキット遊びなども親子で楽しめた。動きが活発になる時期の悩みをお母さん同士話す場を設ける事により、育児に対する不安が解消できた。少しずつ難易度を上げ子どもの成長に合わせたことで、お母さん方からも成長が確認、発見できて良かったという声を聞いた。季節行事を親子、友達と一緒に楽しむことができた。
対象とした事業乳幼児と保護者を		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちぴっこクラブ ・キンダークラブ	月2回程度	10		32	433	0	0	275	708	・運動・制作など出来るようになる2歳児のクラブでは、内容を充実し、親子一緒を楽しむことができた。幼稚園準備に入るため、情報交流の場としての役割も果たした。社会性が身に付き始め、友達同士でも一緒に遊べるようになるため円滑に関われるよう援助、声掛けを行った。
		小計			64	816	0	0	681	1497		
	2	④ 乳幼児 自主事業・英語で遊ぼう・親子DEリトミック・園児親子クッキング、工作、トランポリン・わんぱくっこ・たまぴよサロン・幼児プール・西坂親子ひろば	随時		14	55	557	11	0	514		・園児親子クッキングでの料理では、家では苦手な食材も大勢の中では食べることができ、お母さん方の喜ぶ姿が見られた。食育の点でも大きな効果があった。29年度も食育を意識した行事を、続けていきたい。加えて、幼稚園の帰宅時間に合わせることにより、園児親子が増加した。
		小計				55	557	11	0	514	1082	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度 評価 H28	実施 回数 H28	<u>:</u>	平成28年	年度の参	加人数	τ	事業の内容、利用者の満足度・評価 等	
					年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		
		① 一輪車クラブ				36	1	608	0	1	610	・28年度より27年度好評だったチャレンジキッズの開催を土曜開催から土日開催とした	
		リトルサポータークラブ				21	0	189	0	0	189	事により、昨年より多くの希望者が参加できる ようになった。	
		チャレンジキッズクラブ		各6回	13	20	0	109	3	12	124	・リトルサポーターでは地域の祭りや高齢者と の交流会など地域に関わりのあるようなボラ	
		宮太鼓クラブ				13	16	2	208	0	5	215	ンティアを中心に行った。様々な年齢の方と関わることで、地域の一員であると認識できた。
		② ボランティア活動	随時			20	2	51	0	2	55	・子どもボランティアが設定してある日は少なかったが、日常の児童館活動の中でボランティアを積極的に行ってくれる子が大勢いた。児童館の行事の手伝いや掃除など率先して行ってくれた。年末にはみんなで大掃除ができた。児童が児童館という居場所を意識してくれていると実感できた。	
		小計				113	5	1165	3	20	1193		
	2	③・・工作 ・ 生クッキれ ・ 新1の日、母の日プレゼント作り ・ 子どもスタッフ交流会 ・ 子中軸車クラブ交流会 ・ チャレンジ番付 ・ 合同福祉体験 ・ 科学工作 ・ 裁判所見学 ・ 館長さんと遊ぼう 「スライムを作って遊ぼう」	随時		14	64	91	688	7	204	990	・小学生クッキングは季節を考慮したメニューを考え、旬や季節行事に沿ったものを行った。 1~6年まで参加者の年齢が幅広く、上の子が下の学年の子の面倒をよく見ている姿が見られた。 ・ディキャンプは大勢の参加者があったが、主任児童委員や民生委員の方々に見守りをお願いし、安全に考慮しながら行う事ができた。初対面の者同士が協力して昼食作りをしたり、ゲームを行う姿が見られ、それにより助け合いの精神を養うことができた。	
		小計				64	91	688	7	204	990		

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数		回数	3	平成28年	手度の参	加人数	:	事業の内容、利用者の満足度・評価 等
- 現口		争未在			H28 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
	1	① 児童館まつり ・ふれあいフェスティバル20 16&本土児童館まつり ・リトルまつり	年2回	1	14	2	55	80	12	56	203	・児童館まつりは本土児童館のスペースが狭く一輪車クラブの発表する場所が確保できないため、地域の祭りと共催で行っている。一輪車発表、児童館まつりコーナーには地域の方々の来場があり、児童館を幅広くPRできる場となった。子ども達は祭りに向け一輪車の練習に励み、成果を見せることができたので満足のいった祭りとなった。リトルサポーターにおいても企画、運営したコーナーに多くの来場者があり、充実感のあるものとなった。
地域・多世代間		② 移動児童館 ・ふるさと夏まつり ・ふれあい餅つき大会	年2回			2	119	182	28	162	491	・西坂第1集会所で行われたふれあい餅つき 大会の中で花餅コーナー、宮太鼓クラブによ るオープニング発表を行った。西坂での活動 は今まで少なかったが、この地域での貴重な 交流の機会となった。リトルサポーターの子ど も達も西坂の地域の事を知る機会となり、視 野が広がった。
交流事業		小計			4	174	262	40	218	694		
	2	③ 地域・多世代・自主事業 ・13区ひとみ会、19区シニア サロンふれあい交流会 ・子どもアート広場 ・本土神社例大祭 ・がさがさ探険隊 ・きりえ ・多治見まつり	随時		14	75	295	505	5	363	1168	・地域の高齢者19区シニアサロン、13区ひとみ会との交流会を行った。地域のサロンに参加することで子ども達が高齢者とふれあえ、相互の理解を深めることができた。サロンからの強い要望により、29年度は2回開催を検討している。
		小 計				75	295	505	5	363	1168	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度 評価 H28	実施 回数 H28	3	———— 平成28 ^年	手度の参	抽人数		事業の内容、利用者の満足度・評価 等
	<u></u>				年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
	1	① 中高生ボランティア ・お祭りの手伝い ・幼児プールの手伝い	随時	3	13	5	0	0	22	0	22	・陶都中学校のボランティア募集を行い、祭りやプールなどの手伝いをお願いした。小学生のリトルサポーターとの行事も多く、地域の小学生との交流をし、行事を一緒に作りあげていった。祭りでは地域の活動にも参加した方に触れることで、楽しんでもらえる喜びを味わった。
中		小 計			5	0	0	22	0	22		
中高生事業	2	② 中高生 自主事業 ・乳幼児ふれあい事業「赤ちゃんと遊ぼう」 ・おにいさんおねえさんと遊ぼう	随時		13	3	9	15	12	9	45	・校区にある多治見北高校に呼び掛け、「おにいさんおねえさんと遊ぼう」という交流会を行った。毎年テーマを変え手作りカルタを制作したり、そのテーマに沿ったクイズを考え、子ども達に出題した。どちらも異年齢交流ができ、とても楽しそうだった。高校生は、子ども達と一緒に遊ぶ機会も少ないので、1年に1度の貴重な機会を次年度以降も続けていきたい。
		小計				3	9	15	12	9	45	

-7.5	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度 評価	実施 回数	3	平成28年	手度の参	加人数		
項目					H28 年度	H28	乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	事業の内容、利用者の満足度・評価 等
		相談事業	月1回程度	12	14	12	0	1	0	0	1	・相談日の相談はなかった。乳幼児クラブや来館の時の相談がほとんどだった。乳幼児は子どもに関するしつけや成長などの相談が多く、小学生の親からは不登校や発達障害の疑いなどの相談を受けたため、相談機関に紹介した。1人はその後の経過も聞くことができた。1人はたまに遊びにきていたので子どもの様子を見ながら経過観察をした。
子育てネットワ	1	② 講習・講演・他連携・募金配分金事業「親子で楽しむふれあい歌あそび」「kajiiとあそぼう」・AED講習会	年3回程度	2		3	139	17	0	143		・南消防署の職員を招いてAED講習会を行った。お母さん方も積極的に参加し、疑問点などを聞いていた。このような講習会を地域の方にも参加してもらう事により、地域の児童館という位置づけができた。 ・赤い羽根配分金事業、歳末募金配分金事業には地域の方々も多く参加した。
/一 クづくり相談事業と		② 母親クラブ ・立ち上げ事業「リラックスま ま」	随時			8	78	0	0	75	153	・母親クラブ立ち上げ事業「リラックスまま」を 行いながらクラブの設立に向けて、徐々に人 数が集まった。29年度に母親クラブが立ち上 るよう支援した。保健センターや母子推進員の 方々にも入っていただきながら、地域の子ども の見守り活動なども積極的に行っていきたい。
推進		小計				11	217	17	0	218	452	
	2	③ 子育て 自主事業	随時		0	0	0	0	0	0	0	
		小計				0	0	0	0	0	0	